

1 審議会名	上田市地域クラブ活動推進協議会
2 日時	令和8年3月19日 午後7時から午後8時30分まで
3 会場	市役所本庁舎 5階 大会議室
4 出席者	宮澤会長、矢島副会長、金井委員、佐野委員、竹田委員、矢島委員
5 市側出席者	春原文化政策課長、清水スポーツ推進課長、 宮下スポーツ推進担当係長兼交流スポーツ担当係長、 酒井教育長、池田教育次長、渡辺学校教育課長、清水部活動地域展開推進担当係長、 齋藤地域展開推進コーディネーター、畠山地域展開推進コーディネーター、 綿内学校教育担当主査、小井戸学校教育担当事務職員
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 2人
8 会議概要作成年月日	令和8年3月23日
協 議 事 項 等	
1 開 会（事務局）	
2 教育長あいさつ（酒井教育長）	
3 会議事項	
（事務局）資料に沿い、以下について概要説明	
（1） 前回会議からの経過について	
（2） 「（仮称）上田地域クラブ」の応募結果について	
（3） 「（仮称）上田地域クラブ」の愛称審査結果について	
（4） 今後の予定について	
（5） 意見交換	
（委員） 3点お聞きしたい。	
1点目、3月に開催した指導者研修の参加クラブ数、参加者数はどうだったか。	
2点目、登録した地域クラブとして活動を始めているクラブはどのくらいあるか。	
3点目、四中は部活動から展開されるクラブが多いが教員の兼職兼業はどのくらいあるのか。指導者として何名くらいが参加しているか。また、指導者なしで自主練習としてクラブ活動を行ってもよいのかの規定がないが、自主練習はクラブ活動として認められるか。	
（事務局）1点目、指導者研修への出席は、48クラブ、人数は88名。欠席は4クラブ。	
2点目、中体連に登録しているのは14クラブ。このうち4クラブについてはクラブ登録申請がされていない。全体で52クラブあるうち、活動しているのは現時点で10クラブ程度ということになる。	
3点目、四中の教員の兼職兼業はこれから届け出てもらう。夏休み明けから地域クラブとして活動予定であり、それまでは部活動として活動する。クラブとして活動を開始するまでには兼職兼業届を出してもらうよう案内する。	
自主練習について、クラブ活動は指導者がつくものなのでクラブ活動としての自主練はない。自主練は大事だが、やるのであれば個人としての練習になる。	
（委員）指導者研修は出なければならぬものとされているが、4クラブは欠席であったとのこと。クラブ側には研修の対象者についてどのように伝えているのか。研修は、登録されている指導者は全員出席しなければならないのか、それともクラブから代表として出席すればよいのかが分からない。指導者の負担がどのくらいになるのかを知りたいためお聞きしたい。	
四中はクラブ登録した時点では兼職兼業となる教員はいないのか。	
（事務局）四中は兼職兼業の教員は現時点ではない。	
指導者研修を欠席したクラブには電話で欠席理由を確認しており、これからレポートを提出してもらおう予定。今回の研修は初めての試みのため、クラブから代表で1名出席してもらえれば良	

いこととしている。この研修はクラブ側にも前向きにとらえてもらえたのではないと思う。今後は各クラブから最低1人は必ず出席してもらうようにしていく予定。今後の研修のテーマとして考えているものが6つくらいある。しかし、研修出席には指導者側の負担もあり、また上田市主催とは別のところで研修を受けている方もいるため、動画視聴とレポート提出で受講扱いとすることなども考えている。

(委員) 全てのクラブの指導者が受けるのが原則だが、全員が研修に出席するのは難しいため、今のお話にあったように、オンラインを活用してほしい。指定した期間中に動画を視聴してもらい、受講したことがきちんとわかるような仕組みができると良いのではないかな。

(委員) 指導者への研修についてお話いただいた。指導における体罰等は社会問題にもなっているため、今後の課題にもなっていく。別のご意見等あるか。

(委員) いよいよ4月からクラブ化が始まる。資料3、資料3-1について、上田地域クラブの愛称が決定したことはとても素晴らしいと思う。せっかく募集して決まった愛称なので、「うえJOY」をもっと前面に出していったらどうか。「上田地域クラブ」+「うえJOY」だと、「うえJOY」が後ろになってしまう。「うえJOY」を前にもってくるのはどうか。

(事務局) より多くの人に知ってもらいたいと考えているが、移行期においては、「上田地域クラブ」とあわせて使用することで地域クラブを指すことの説明とし、まずは浸透させていきたい。

(委員) 令和9年度からの完全移行に向け、令和8年度は諸課題が山積している。諸課題を洗い出しながらクリアしていく大変な1年になる。

活動場所について、種目によるが、複数の学校の体育館で活動を行う予定のクラブがある。令和8年度の1年間、この申請内容にある時間帯での活動を想定していると思う。しかし、令和9年度にクラブに完全移行したときには、令和8年度にはなかったほかのクラブもその中学校の体育館を借りることになる。社会体育での使用もあり、その調整もされていると思うが、新たなクラブができた際にはそれまでに使用してきているクラブとの体育館使用の調整が課題となるのではないかな。

中学校の体育館が地域クラブ活動の活動場所として使用されることについては、まず市教委から学校に説明、学校の職員会で共有がされるかと思うが、特定の種目しか受け入れられないということがないようお願いしたい。学校の体育館が活動場所としての受け皿になることについて、令和9年度に向け周知をお願いしたい。

また、スポーツ協会でも競技力向上についての会議があった。ある種目がクラブ化に向け動いているが、学校や指導者の状況により、クラブの立ち上げに向けての動きに差がある。市教委、市長部局含めた行政側とスポーツ協会などの間でも、情報共有、情報交換できる場があった方が良いと思う。令和8年度はぜひそのような機会を設けてほしい。

(委員) 活動場所について、すでに決めているクラブと、現時点では希望として出しているクラブと、スタートは一緒の方が良いのではないかな。新しく立ち上がったクラブが入り込めない状況が出てくることを懸念している。先に活動していたという既得権ではなく、上田市内の小中学校や市の公共施設を、公平に使えるようにしてほしい。管理面の問題もあると思うが、校長会でも、教育委員会とともに様々な種目を受け入れるスタンスでいてほしい。

(委員) 活動場所について、中学生の立場からも話したい。中学生の活動の地域展開であり、どこの地域の場所を使ってもいいというわけではない。住んでいるエリアと全く違うエリアに行くのではなく、真田、塩田、上田など、その地域に作られたそれぞれのクラブで活動する。一番ネックとなるのが移動の問題だが、クラブがその地域に作られたのであれば、その地域の子たちが優先とまでは言わないが、クラブがある地域の子たちにメリットがあるようにしてほしい。

また、中学校には、バレー、バスケなど様々な設備があるが、小学校はそういった設備が整っていない。小学校も活動場所として使えるようにするための整備を令和8年度にやってもらえると良いと思う。

(事務局) 小中学校のグラウンドや体育館などは、学校の使用時間と、社会体育等で一般開放する時間とが区切られている。今は18時半、19時を区切りとしていることが多いが、クラブは中学生の活動なので、開放時間の今後の調整により使える時間帯が増えることもある。

また、移動手段、移動時間は課題の1つである。その活動場所までの移動が必要なので、なるべく近い場所で活動できることが望ましいが、新しいクラブはそれまでその場所で活動をしていないため、そういった事情も加味しながら公平性も保ちつつ検討していく。令和9年度からクラブ化するところもあり、令和8年度から先行して活動するクラブのみで調整することもできないため、当面は、その年度ごとに調整していくことが必要。

先ほどご意見いただいたが、庁内、各団体との情報共有や意見交換はしていきたいと我々も考えている。ご協力いただきたいこともたくさんあるので、是非お願いしたい。

(委員) 運営団体としてお願いしたい。クラブ登録にあたり、各クラブに収支予算書を提出してもらった。指導者謝金は1時間1,000円と市から示されている中、実際に予算書を見ると1時間300円～500円で指導してもらおうというクラブが多かった。今後、このような状況でやっていけるのか心配である。長野市はそのあたりをしっかりと予算化しておりクラブ化も進んでいると聞く。上田市でも、クラブだけでなく運営団体への支援もお願いしたい。国でも補助金を創設しており、22万円～60万円位の補助が出るということも聞いた。クラブを運営していくためには運営団体としても費用がかかる状況。子どもたち、保護者に負担をかけずに続けていくために、要望としてお伝えしたい。

(委員) ほかにご意見等あるか。

(委員) 昔吹奏楽をやっていたことがあり、夏休み期間中などプロの先生が指導にきてくれていた。他校と合同で、パート毎に分かれてレベルアップのための練習を行った。市内のクラブ間でも、そういった横の連携ができると良いのではないかと思う。

(委員) クラブ間で交流や連携ができると良いとのご意見だが、いかがか。

(事務局) 吹奏楽については、信州国際音楽村がサポートしてくれている。ボランティアマネージャーとしてのサポートのほか、運営団体のような役割も担って頂ける予定。学校により人数等は違うが、時には皆が集まって演奏会を開催するなど、クラブ間で交流をしていけるのではないかと思う。音楽村にも検討していただくよう伝える。

運動系についても、今までにも練習試合など他校との交流がある。競技団体、運営団体にも協力いただきながら企画していけると良いと思う。

4 事務連絡（事務局）

5 閉 会（事務局）